

## 平成 31 年度 モニタリング結果報告書

活動組織名 ○○の森保全の会

## 1 活動の目標

人工林をきれいにしたい。 (相対幹距比 2.0 ポイントアップ)

具体的な数値目標を記載

## 2 活動実施前の標準地の状況 (平成 30 年度)

写真

標準地の状況を記載	100 m <sup>2</sup> のプロット内に平均樹高 15m のスギが 19 本成立。(相対幹距比 15.3)
-----------	---

整備前のプロット内の状況を具体的に記載

## 3 活動 1 年目の標準地の状況 (平成 30 年度)

写真

標準地の状況を記載	100 m <sup>2</sup> のプロット内の木を 3 本伐採した。19 本→16 本 相対幹距比 15.3→16.7
目標達成度	$(16.7 - 15.3) / 2.0 = 70\%$
次年度に向けた改善策	引続き間伐を実施し、相対幹距比 2.0 ポイントアップを目指す。

整備後のプロット内の状況を具体的に記載

上記目標数値に対する達成度を%で記載

達成度が 100%に達しない場合、次年度以降の対応を記載

## 4 活動 2 年目の標準地の状況 (平成 31 年度)

写真

標準地の状況を記載	100 m <sup>2</sup> のプロット内の木を 2 本伐採した。16 本→14 本 相対幹距比 16.7→17.8
目標達成度	$(17.8 - 15.3) / 2.0 = 125\%$

事業の最終年度に 100%に達しない場合は事業終了後も 100%達成できるまで活動は続けていただき、達成した時点でこの報告書を提出いただく必要があります。

次年度に向けた改善策	
------------	--

5 活動3年目の標準地の状況（平成○年度）

写真

標準地の状況を記載	
目標達成度	

（注）目標の設定及び標準地の状況の記載については、別に定めるガイドラインを参考とすること。